

平成 28 年度 港区運営方針に関する自己評価の概要 まとめ版

自己評価

1 年間の取組成果と今後取り組みたいこと

平成 28 年 7 月に改定した「港区まちづくりビジョン」に基づき、区政会議など区民の意見を反映する区政運営を横糸として、各小学校区の「地域活動協議会」を中心とした自律的な地域活動を縦糸として、横糸と縦糸が交わる強いネットワークで、港区にふさわしい区民主体のまちづくりをめざしており、特に防災の分野で地域防災力の強化など取組の成果が出ている。引き続き港区にふさわしい区民主体のまちづくりを進める。

解決すべき課題と今後の改善方向

本格化する少子・高齢化社会の中で、子育て支援や高齢者の見守りなど身近な生活課題の解決に住民どうしが協力して取り組むためには、「つながり」や「きずな」による更に豊かな地域コミュニティが必要となっている。今後、弁天町駅前土地区画整理記念事業の進捗などにあわせて、港区に更に豊かなコミュニティの醸成をめざす。また、このまちが持つ多彩な文化的・歴史的資源や都市としてのランドマークなど、港区の「強み」を活かしたまちづくりを進め、まち魅力の創造や発信を強化するとともに、子どもの学ぶ力、生きる力の育成や子育て支援に重点を置いた取組を強化し、住んでみたいと選ばれるまちづくりを進める。

経営課題 1 区民主体のまちづくり

戦略1-1 豊かなコミュニティの促進

具体的取組		業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) コミュニティ育成支援	概要版 P.3	目標達成	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動団体間の協力・連携が深まり、それぞれの地域の実情にあった活動が展開されている ・一方、活動の担い手の幅が広がらず、一部の担い手への役割の集中が大きな負担感になっている
(2) 地域活動協議会による広報活動の支援	P.4	目標達成	

戦略1-2 区民主体のまちづくりの推進

具体的取組		業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 地域活動協議会に対する財政的支援	P.5	目標達成	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス的手法による自主財源の確保などを促進することにより、自律的・持続的な地域運営を促進する必要がある
(2) 地域活動協議会に対する運営支援	P.5	目標達成	
(3) 地域活動のコミュニティビジネス化等の支援	P.6	目標達成	

戦略1-3 多様な主体の協働の推進

具体的取組

- | | |
|---------------------------|-----|
| (1) 多様な協働のための機会と場の提供 | P.6 |
| (2) 校庭等の芝生化 | P.7 |
| (3) 地域課題解決に向けての社会的ビジネスの促進 | P.7 |

業績目標の達成状況

目標達成

目標達成

目標未達成 ⇒ 改善

評価結果の総括

- ・地域団体のほか、商店街や企業、NPOなどの多様な活動主体の協働を促進するとともに、これらの主体と行政が協働するマルチパートナーシップを進める必要がある

【目標未達成状況】

(3) 地域課題解決に向けての社会的ビジネスの促進

社会的ビジネスを活用して地域課題の解決に向けて取り組む地域

〔目標〕：11 地域 ⇒ 〔実績〕 8 地域 （平成 26 年度 7 地域、平成 27 年度 7 地域（8 地域が選定応募））

<改善策>

他地域の課題解決の具体事例や改善事例などを情報提供することにより、効果的な事業運営にむけた取組を促す。

経営課題 2 安全・安心・快適なまちづくり

戦略2-1 防災対策の強化

具体的取組

(1) 地域防災の活動支援	概要版 P.10
(2) 避難行動要支援者対策の促進	P.10
(3) 防災リーダーの育成	P.11
(4) 防災サポーター登録企業等の確保	P.11
(5) 災害時における初期初動体制の強化	P.11
(6) 津波避難ビルの確保	P.12
(7) 福祉避難所の設置運営支援	P.12
(8) 防災・減災教育の推進	P.12
(9) 防災広報・啓発	P.13

業績目標の達成状況

目標達成
目標達成
目標達成
目標達成
目標達成
目標達成
目標達成
目標達成
目標達成
目標未達成 → 改善

評価結果の総括

- ・ 地域活動協議会が主体となった防災学習会及び避難所開設訓練が全地域で開催され、自助・共助の意識や地域防災力は向上している。
- ・ 大規模災害時に自助・共助・公助の役割のもと、迅速かつ的確な対応が行えるよう、区の特性を踏まえた防災対策を引き続き強化する必要がある。

【目標未達成状況】

(9) 防災広報・啓発

災害の備えとして港区の広報紙やHP、防災フォーラムが参考になったと答えた区民の割合

〔目標〕：70% ⇒ 〔実績〕：51.9%

＜改善策＞

広報紙及びHPの防災欄をみていただけるよう、テーマの選定や目を引く紙面づくりを行い、より魅力的な紙面等を作成する。

戦略2-2 防犯対策の強化

具体的取組		業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 地域防犯啓発	P.13	目標未達成 ⇒ 改善	<ul style="list-style-type: none"> 街頭犯罪発生件数は減少傾向にあるものの、引き続き、警察や地域などとの連携を一層強化し、街頭犯罪の発生状況を踏まえた、臨機かつ機動的な防犯活動の展開が必要である。
(2) 子どもの安全見守り防犯カメラ設置	P.14	目標達成	
(3) 子ども見守り隊活動に対する支援	P.14	目標達成	
【目標未達成状況】 (1) 地域防犯啓発 防犯意識の向上した区民の割合 【目標】：前年度の5%増 ⇒ 【実績】：0.5%増		〈改善策〉 防犯活動情報交換会に各地域の防犯支部長や港警察の参加を図り、効果的な情報交換会を実施する。	

戦略2-3 歩行や移動の安全性の確保

具体的取組		業績	評価結果の総括
(1) 自転車利用の適正化	P.15	目標達成	<ul style="list-style-type: none"> 放置自転車台数は減少しているが、自転車事故の発生件数が増加しているため、更なる自転車利用の適正化を図る必要がある。 「交通バリアフリー基本構想」の具体化に向け関係機関との連携を密にする必要がある。
(2) 弁天町駅周辺のバリアフリー化に向けた取組	P.15	目標達成	

戦略2-4 生活環境の向上と改善

具体的取組		業績	評価結果の総括
(1) 種から育てる地域の花づくり支援	P.16	目標達成	<ul style="list-style-type: none"> 緑化講習会等の取組を実施し、花づくり広場で活動するボランティアの増を図った。 地域と関係機関との連絡を密にし、情報共有を図るための会議を開催した。 「港区空家等対策アクションプラン」を策定するとともに、区民等からの相談に応じた。
(2) 国道43号沿道環境の改善	P.16	目標達成	
(3) 特定空家対策	P.16	目標達成	

経営課題 3 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

戦略3-1 地域福祉の推進

具体的取組		業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 地域福祉アクションプランの推進支援	概要版 P.19	目標未達成(撤退基準)⇒再構築	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者要支援者の見守り支援、障がい者等にかかる相談支援、児童虐待の防止の取組み、区民の健康増進等により、区民一人ひとりが健やかにいきいきと暮らせるまちづくりに向けた取組を進めてきた。 ・今後、引き続き地域福祉の推進やセーフティネットの充実、健康寿命の延伸に努める。
(2) 高齢者等要支援者の見守り支援	P.19	目標達成	
(3) 認知症支援ネットワークの充実	P.20	目標達成	

【目標未達成状況】

(1) 地域福祉アクションプランの推進支援

地域住民懇談会の開催

【目標】：11校下 ⇒ 【実績】 3校下 (撤退基準：5校下以下)

<改善策>

区社会福祉協議会と連携し、地域の実情に即して、各地域に地域福祉の現状等に関する情報提供を行うとともに、より効果的な取組みや平成30年度の地域福祉活動計画（地域福祉アクションプラン）改定に向けた体制づくりを促進する。

戦略3-2 地域包括ケアシステムの構築

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 在宅医療・介護連携の推進 P.21	目標達成	<p>・介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、医療と介護の関係機関の連携による包括的な在宅医療・介護サービスや、多様な事業主体による生活支援サービスが提供される、地域包括ケアシステムの構築に重点的に取り組む必要がある。</p>
(2) 介護予防・日常生活支援総合事業のモデル実施 P.21	目標達成	

戦略3-3 セーフティーネットの充実

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 高齢者等要支援者の見守り支援<再掲> P.22	目標達成	<p>・高齢者、障がい者、子どもなどに関する相談機能を充実させるとともに、関係機関や地域で活動する団体・グループとの連携強化を図った。引き続き、支援を必要とする住民一人ひとりの多様なニーズに適切に対応する必要がある。</p>
(2) 乳幼児発達相談事業の強化・発達障がい児の養育者支援 P.22	目標達成	
(3) 児童虐待の防止・DV被害者の支援 P.23	目標達成	
(4) 障がい者・高齢者虐待の防止の取組 P.23	目標達成	
(5) 生活困窮者対応の充実 P.24	目標達成	

戦略3-4 健康寿命の延伸

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 区民の健康増進 P.24	目標達成	<ul style="list-style-type: none"> 区民の健康寿命の延伸のための取組を実施してきたが、自ら健康づくりに向けて取り組む意識が希薄と考えられる。意識付けに有効な広報・周知を行う必要がある。
(2) がん検診・特定健康診査の受診率の向上 P.25	目標達成	

戦略3-5 多様性を尊重しあう共生社会づくりの推進

具体的取組	業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 区における人権啓発推進・人権相談事業 P.26	目標達成	<ul style="list-style-type: none"> LGBTB当事者とその友人やアライ（協働パートナー）が集う場の定例開催、区民まつりでのLGBT啓発ブースの出店、LGBT当事者と区民との交流会などの企画運営を行なうなど、多様性を活かし力にできるまちづくりに取り組んだ。 引き続き多様な学習機会を提供し、新たな参加者のより一層の拡大を図る必要がある。

経営課題 4 「子どもの学び」と「子育て世代」を応援するまちづくり

戦略4-1 「子どもの学び」の応援

具体的取組		業績目標の達成状況	評価結果の総括
(1) 分権型教育行政の推進、教育課題解決への取組	P.28	目標達成	・分権型教育行政を推進するとともに、学校・教育コミュニティのモニタリングを行い、保護者・地域住民、校長等の多様な意見・ニーズをくみ取った、多文化カフェ等の多文化共生教育スタートアップ事業・スクールカウンセラーの増員配置・海遊館生物学教室の開設・自習室の開設等の新たな取組みを行うなど必要なサポートを行った。平成28年度に実施した子どもの生活に関する実態調査からも、子どもや子育てを取り巻く環境は依然として厳しい状況にあり、課題を抱える子どもや家庭への支援や、こどもの学力・体力や教育環境の向上に重点的に取り組む必要がある。
(2) 家庭学習促進	P.28	目標達成	
(3) 地域の強みを活かした教育力向上	P.29	目標達成	
(4) 多文化共生教育スタートアップ事業	P.29	目標達成	
(5) 学校園における福祉的課題をかかえる児童生徒への支援	P.30	目標達成	
(6) 発達障がいサポート	P.30	目標達成	
(7) 帰国・来日等の児童・生徒への学習サポート等	P.31	目標達成	
(8) 別室登校等サポーター派遣	P.31	目標達成	
(9) 港区サードプレイス事業（こどもの居場所づくり）	P.32	目標未達成(撤退基準)⇒再構築	
(10) 小学校の学校配置の適正化	P.32	目標達成	
(11) 青少年の健全育成の推進	P.32	目標達成	

【目標未達成状況】

(9) 港区サードプレイス事業（こどもの居場所づくり）

複数回利用者の割合

【目標】：50%以上 ⇒ 【実績】：15% （撤退基準：30%未満）

＜改善策＞

保護者向けの講演会等や保護者の集いの外、臨床心理士による教育相談を同時に開催するなどにより、本事業を必要としている児童・生徒の保護者に向けた情報発信に努め、より参加しやすい環境を整えていく。

戦略4-2 「子育て世代」の応援

具体的取組

(1) 保育所待機児童への対応	P.33
(2) 子育て支援情報の提供	P.33
(3) 子育て相談機関による支援の充実	P.34

業績目標の達成状況

目標達成
目標達成
目標達成

評価結果の総括

・小規模保育事業所の新設や、子育て支援機関や地域の子育て支援団体・グループとの連携強化による支援の取組み等により、子育てしやすい環境づくりを進めてきた。今後、待機児童ゼロに向けた取組とともに、子育て支援機関等と連携して積極的・一体的に子育て情報をわかりやすく発信し、より多くの子育て世代に「子育てしやすい」と感じていただけるよう、地域の身近なところで気軽に相談できる環境整備に取組む必要がある。

経営課題 5 訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり

戦略5-1 地域資源を活かしたまちの活性化

具体的取組

(1) 商工業者のビジネス機会の提供	概要版 P.36
(2) 港区魅力発掘・創出	P.37
(3) 地域や事業者等と連携した商店街による取組の支援	P.37

業績目標の達成状況

目標達成
目標未達成 ⇒ 改善
目標達成

評価結果の総括

- ・事業連携等によるビジネスチャンスを広げるため、大阪商工会議所等と連携しものづくり事業者間のネットワークの拡充等販路拡大につながる支援を行ったが、新たな企業連携を創出するためには、日常的な情報収集等の取組が必要。
- ・区内の商店街では、地域と連携したにぎわいイベントなど個性ある取り組みが行われており、港区の魅力ある資源を活かした産品等を創出するみなトクモンプロジェクトを通じた商店や事業者間の連携も進んでいる。

【目標未達成状況】

(2) 港区魅力発掘・創出

「みなトクモン」の認知度

〔目標〕：50%以上 ⇒ 〔実績〕：43.2%

＜改善策＞

広報紙やHP、ツイッター、フェイスブックなど区からの情報発信に加え、事業者や区民の方々にも協力いただき、地域からの情報発信の機会をふやしていく。

戦略5-2 まちの魅力の発信

具体的取組

(1) 港区に住む魅力の発信	P.38
(2) 港区の魅力発掘・創出 <再掲>	P.38

業績目標の達成状況

目標達成
目標未達成 → 改善

評価結果の総括

- ・港区の魅力ある資源を活かした産品等を創出するみなトクモンプロジェクトを通じた商店や事業者間の連携も進んでおり、まちの魅力の発信につながっている。
- ・さらに今後は、観光施策の取組と連携して、まちづくりの視点から港区に住む魅力の発信を行う必要がある。

【目標未達成状況】

- (2) 港区魅力発掘・創出 <再掲>

戦略5-3 築港地区のにぎわいづくり

具体的取組

(1) 「築港・天保山地区まちづくり計画」策定に向けた検討調査	P.39
(2) 海と川をつなぐ水辺のにぎわいづくり	P.39

業績目標の達成状況

目標達成
目標達成

評価結果の総括

- ・築港地区は、大規模な集客施設のほか、歴史・文化などの観光資源が豊富に存在し、年間を通じて多くの来訪者あるが、まちのにぎわいの活性化に繋がっていない。一方で住民、商店会、集客施設、企業、行政等の多様な主体によるまちづくりやにぎわいづくり等の取組をベースとして、イベントの収益等を活動資金として確保し、継続したまちの魅力創造事業を行う仕組みの基礎が構築できたため、今後は、豊富な観光資源を活かし観光施策の取組と連携して、まちづくりの視点から居住人口の増加など地域の活性化を図る必要がある。

戦略5-4 まちづくりに向けた行政資産等の活用

具体的取組

業績目標の達成状況

評価結果の総括

(1) 弁天町駅前土地区画整理記念事業に係る検討 P.40
(2) 八幡屋公園の利活用 P.41
(3) 市岡商業高校跡地、弁天埠頭などの有効活用 P.41

目標達成
目標達成
目標達成

- ・公募区民等によるワーキングや区政会議をふまえ、「(仮称)区画整理記念・交流会館」が果たす機能など、基本的な考え方を基本構想としてとりまとめた。また、供用廃止する区民センターや図書館移転後の建物の取扱いについて、区分所有者と協議しながら検討を進めた。港区にさらに豊かなコミュニティを醸成し、将来に向けにぎわいと活力あるまちづくりをめざすため、区画整理事業の円滑な推進を図る。
- ・区内には、市岡商業高校跡地、JR臨港(貨物)線跡地など、まちづくりに活用できる遊休地、資産があるため、今後のまちづくりの方向性を踏まえて、これらの資源・資産の活用策等について区民の意見を踏まえて検討し具体化していく必要がある。

経営課題 6 区民意見を反映した区政運営

戦略6-1 多様な区民の意見・ニーズの的確な把握

具体的取組

(1) 区の広聴関係事業	概要版 P.42
(2) 区役所の相談機能の強化	P.43

業績目標の達成状況

目標達成
目標未達成 ⇒ 改善

評価結果の総括

・ツイッター等の運用強化など積極的な情報発信やさまざまな方法による広聴などを行っているが、区役所による区民意見等の把握と区政への反映が十分と感じている区民の割合は高くない。そのため、今後より一層、多様な区民の意見・ニーズの的確な把握に努める必要がある。

【目標未達成状況】

(2) 区役所の相談機能の強化

日常生活に関する様々な相談や要望について、区役所が適切に対応していると感じる区民の割合

〔目標〕：75% ⇒ 〔実績〕 73.1%

〈改善策〉

サービスの受け手である相談者等の視点に立ち、窓口サービスの改善に向けた取組を進めながら、より適切かつ丁寧な対応に努める。

戦略6-2 区政の参画と協働による区政運営

具体的取組

(1) 区政会議運営	P.43
(2) 分権型教育行政の推進、教育課題解決への取組(再掲) P.44	

業績目標の達成状況

目標未達成(撤退基準)⇒再構築
目標達成

評価結果の総括

- ・区政会議や区教育行政連絡会議を中心に、施策・教育行政等への意見や評価をいただくなど、区の施策・教育行政に区民意見の反映を行った。
- ・意見の聴取を充実させるためには会議をより活性化する必要がある。

【目標未達成状況】

(1) 区政会議運営

区政会議での意見や評価を施策・事業に反映した件数

【目標】：10件 ⇒ 【実績】 5件 (撤退基準：5件以下)

<改善策>

更に分かりやすい資料にすることを検討する。また、事前の意見聴取も引き続き行い、意見が出やすいように工夫することで多くの意見を聴取し施策・事業への意見反映に努める。

戦略6-3 区政情報の積極的な発信

具体的取組

(1) 施策・事業の積極的発信

P.44

業績目標の達成状況

目標未達成 ⇒ 改善

評価結果の総括

・区役所による区民意見等の把握と区政への反映が十分と感じている区民の割合は高くない。そのため、今後より一層、多様な区民の意見・ニーズの的確な把握に努め、区内の実情や特性に即した施策・事業を総合的に展開し、その取組や成果について積極的に発信する必要がある。

【目標未達成状況】

(1) 施策・事業の積極的発信

施策・事業に関する区長メッセージを読んだことがある区民

【目標】：80% ⇒ 【実績】 51.1%

<改善策>

広報紙の地下鉄3駅への掲示や配架、関係機関への送付とともにイベントでの配付等、多くの区民が広報紙を手にとっただけの機会を増やす。

戦略6-4 区民が利用しやすく、信頼される区役所づくり

具体的取組

(1) 暮らしに必要な情報の発信	P.45
(2) 窓口業務におけるサービスの向上	P.45
(3) 区民が納得できる効果的・効率的な業務運営	P.46

業績目標の達成状況

目標達成
目標達成
目標未達成(撤退基準)⇒再構築

評価結果の総括

- ・区民が快適で利用しやすい区役所となるよう、庁舎案内の改善や窓口での対応の向上を図るとともに、その取組について情報発信を行ってきた。
- ・更に区民の信頼・満足・納得を得ることができる区役所づくりを進める必要がある。

【目標未達成状況】

(3) 効果的・効率的な業務運営に向け、区の実情や特性に即して区役所の取組が進められていることを知っている区民の割合

〔目標〕：60% ⇒ 〔実績〕 27.7% (撤退基準：40%未満)

＜改善策＞

区役所の取組を区民によりわかりやすくなるように内容を工夫しながら、区役所の効果的効率的な業務運営について情報発信をしていく。